

通販市場、20.1%増の10.6兆円市場へ

JADMA「2020年度通販市場売上高調査」

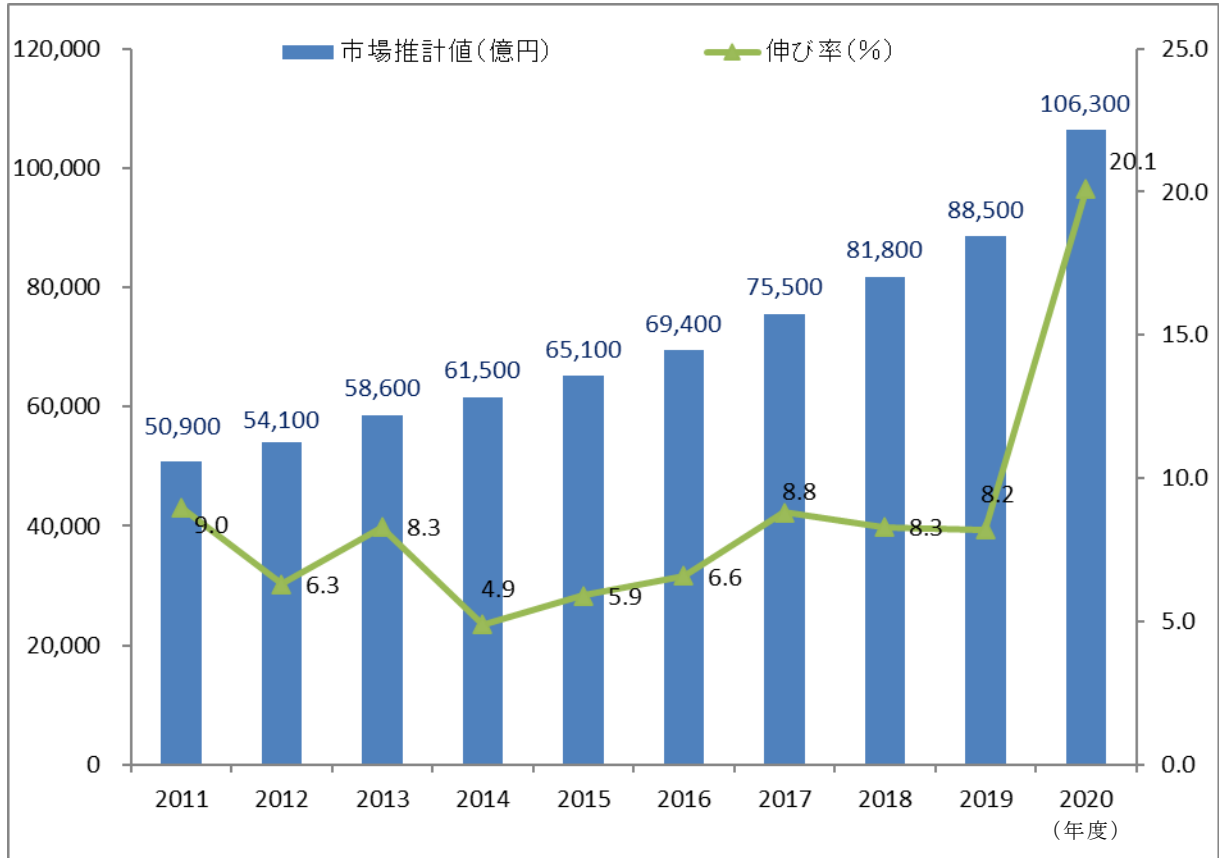
コロナ禍の購入手段として拡大

公益社団法人 日本通信販売協会（略称＝JADMA、栗野光章会長、正会員432社：8月23日現在）では、2020年度（2020年4月－2021年3月）の通信販売市場の売上高について調査を行い、このほど速報値がまとまりました。

それによると、2020年度の通販の売上高は、前年比20.1%増の10兆6,300億円となり、金額ベースでは前年に比べ1兆7,800億円の増加となりました。

コロナ禍の購入手段として活用されたこともあり、調査を開始した1982年度以来初めて、20%以上の伸び率となりました。直近10年の平均成長率は8.7%で、マイナス成長を記録した1998年度以来、22年連続して増加傾向が続いています。

通販市場の傾向として、モール系が堅調であること、商材では家電系や家具、食品系など、在宅時間を充実させる目的の商品が好調であることが挙げられます。



■2020年度通信販売市場調査の概要について

- ・通販市場の売上高は、会員情報に加えて、当協会会員 434 社（調査時点）を対象に実施した「第 39 回通信販売企業実態調査」から得た回答の売上部分を先行集計した結果と、各種調査から推計できる有力非会員 386 社の売上を加えて算出しております。

（調査期間：2021 年 6 月 24 日～8 月 13 日）

- ・推計値は、衣料品や雑貨、化粧品、健康食品などの物販が中心となります。
- ・本年 11 月に商品別や媒体別などを分析したレポート「第 39 回通信販売企業実態調査報告書」として刊行予定です。

--本件に関するお問合せ先--

公益社団法人日本通信販売協会 事務局

担当：三浦・田邊・日俣

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 3-2

TEL：03-5651-1155 FAX：03-5651-1199